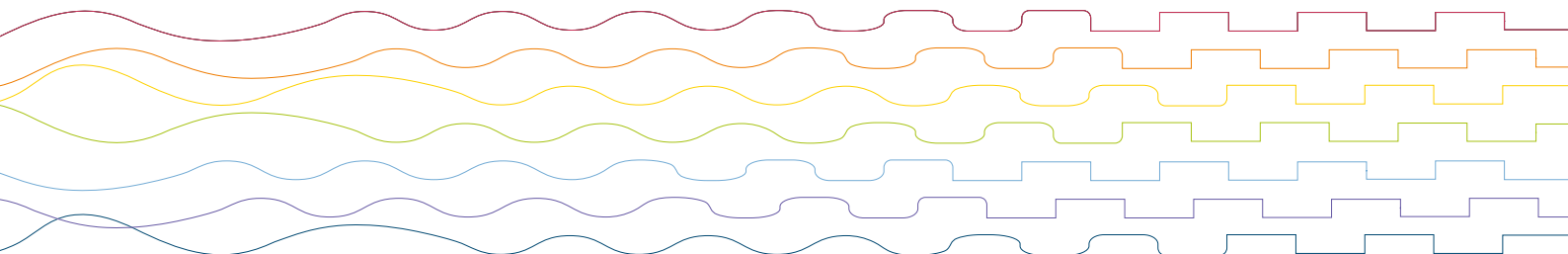


CSR Report 2013

2013 Communication on Progress



コンテンツ

- 03 トップメッセージ
- 04 シナノケンシのCSR取り組み全体図
- 06 製品での社会貢献（消費者課題）
- 07 組織統治
- 08 労働慣行
- 09 環境
- 10 コミュニティへの参画
- 11 人権・公正な事業慣行

国連グローバル・コンパクトとは

2000年に国連で制定された、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わるCSRの基本原則10項目（＝国連GC10原則）に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

基本原則10項目

- | | | |
|--------|------|-------------------------------|
| 【人権】 | 原則1 | ：国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重する。 |
| | 原則2 | ：自らが人権侵害に加担しないよう確保する。 |
| 【労働基準】 | 原則3 | ：組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持する。 |
| | 原則4 | ：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持する。 |
| | 原則5 | ：児童労働の実効的な廃止を支持する。 |
| | 原則6 | ：雇用と職業における差別の撤廃を支持する。 |
| 【環境】 | 原則7 | ：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持する。 |
| | 原則8 | ：環境に関するより大きな責任を率先して引き受ける。 |
| | 原則9 | ：環境に優しい技術の開発と普及を奨励する。 |
| 【腐敗防止】 | 原則10 | ：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組む。 |



トップメッセージ

(Statement of continued support by the Chief Executive Officer)

シナノケンシ株式会社では、今後進む国際化（グローバル化）と、それに伴うグループ組織の拡大化を考慮し、1984年に組織の効率的な事業運営と組織統制を目的に企業理念であります「目標と理念」と、社員の行動基準である「社員心得」を制定しました。特に社員の行動基準としては「誠実・公正」「信頼」を当社として伝え続けるべき大切な行動・意識として伝えてきたことは、現在の「企業の社会的責任（CSR）」に通じるところがあると考えております。

2010年には、当社を取り巻く様々な環境変化を考慮し、これらを見直し「シナノケンシの目標」、「社員心得」として新たな企業方針を制定しました。

また2011年度は、これら企業方針を当社のステークホルダーの皆さまに明確に表明し、当社の企業活動内で活用するために、「グループ行動規範」、「コンプライアンスの手引き」、および「グローバル調達基本方針」を制定いたしました。

国連グローバル・コンパクトの参加企業として、GC10原則を支持し、企業の社会的責任を果たし、グローバル社会の要請に応じて参りたいと考えます。

代表取締役社長 金子 元昭

CSR 方針

私たちは「シナノケンシの目標」に基づき、誠実な行動と公正な判断で、事業活動を通して社会に貢献し、信頼されるグローバル企業を目指します。

2011年3月11日 制定

代表取締役社長 金子 元昭

シナノケンシ株式会社 代表取締役社長

金子 元昭



シナノケンシのCSR取り組み全体図

コミュニティへの参画

省エネパトロール隊参加

出前授業

絹糸紡績資料館

会社見学

地域清掃ボランティア

献血

長野県環境保全協会活動

子育て応援Webページ（NPOパレットと共同）

消費者課題

個人情報保護規程

省エネ製品の開発・販売

設計基準・製品安全基準

広告宣伝規程

ISO9001/TS16949認証取得^{*2}

プレクストーク・補聴器の開発・販売

組織

シナノケンシの目標

シナノケンシグループ
行動規範

調達基本方針

人権

社員相談室開設

くるみんマーク認定^{*1}
(2008年)

障がい者雇用の促進

労働組合の結成

育児休業制度・介護休業制度

NPO（パレット）と連携 素敵なパパ講座

ファミリーフレンドリー企業受賞
(2008年)

セクシュアルハラスメントに関する規程
(1999年～)



CSR方針に基づき、各項目についてCSR活動を推進しています。

統治

社員心得

CSR方針

公正な事業慣行

貿易管理規程

公益通報者保護規程

下請法の遵守及び教育

職務発明取扱規程

情報セキュリティ対策規程

コンプライアンス推進活動

個人情報管理規定

労働慣行

安全衛生委員会設置

職場別安全競争

安全衛生パトロール

メンタルヘルス講習

ヒヤリハット提案活動

作業環境測定

リスクアセスメント活動

ワークライフバランス委員会

環境

ISO14001の認証取得^{*3}

ゼロエミッション工場

環境標語の募集

CO₂削減

社内植樹活動

RoHS・REACH対応等有害物質削減活動

社員食堂（地産地消メニュー）

オゾン層破壊物質の非使用



*2



*3

2012 年度活動トピックス

製品での社会貢献（消費者課題）

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰： 内閣総理大臣表彰受賞。

シナノケンシは、内閣府主催の「平成 24 年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」において、最高賞となる「内閣総理大臣賞」を受賞しました。

■ 受賞理由

全国の点字図書館等の視覚障がい者情報提供施設で貸出されるデジタル録音図書機「プレクストーク」を開発・販売する当社が、情報バリアフリーを実現し、視覚障がい者の自立、社会参加、就学及び就労支援に貢献したことが評価されました。

■ DAISY 関係者を代表して

今回の表彰で、当社を推薦していただいたのは日本盲人会連合という視覚障がい者の日本最大の団体です。その後、専門家による審査を経て、受賞に結びついたものですが、プレクストークの歩みは、ユーザーの皆様の貴重な声をもとに、NPO、ボランティア、情報提供施設など志を持った多くの皆様とともに歩んできた歴史でもあります。



デジタル録音図書読書機「PLEXTALK」



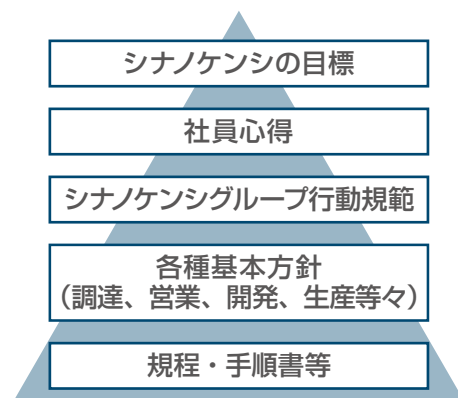
内閣総理大臣表彰楯

組織統治

シナノケンシでは、経営の基本方針として「シナノケンシの目標」を、その目標を達成するために5項目の「社員心得」、37項目の「シナノケンシグループ行動規範」を定めシナノケンシグループとして共有しています。

これらの経営理念を基に「コンプライアンスの手引き」、「グローバル調達基本方針」等の制定をし、社内およびステークホルダーの方々に浸透を図るなどの活動を通し、CSRをさらに進化させていきたいと考えています。

- ① グループ行動規範
- ② コンプライアンスの手引き
- ③ グローバル調達基本方針



経営理念体系図

シナノケンシの目標

- ・ シナノケンシは、常に顧客にとってかけがえのない魅力に満ちた会社であることを目標とします。
- ・ シナノケンシの真の資産は人であり、社員にとっての会社の魅力を大きくすることを目標とします。
- ・ シナノケンシは、人とのつながりを大切にし、事業活動を通じて未来を動かす会社であることを目標とします。

(2010 年 9 月 改訂)

社員心得

- ・ 誠実な行動と公正な判断で、信頼を高めましょう。
- ・ お客様の喜びは自分の喜び。自ら考え、自ら行動しましょう。
- ・ 「技」を磨き、世界で成長しましょう。
- ・ 変化を先取りし、素早く行動しましょう。
- ・ 常に全社的な視点とチームワークを忘れず、執念で勝利をつかみましょう。

(2010 年 9 月改訂)

労働慣行

いきいき活動

社内コミュニケーションを活性し、社員がいきいきと活躍している場創りの活動として「いきいき活動」を2012年度から始めました。

「あいさつの習慣化」、「いきいきイベント」等の7項目を実施しました。



あいさつ運動の様子

社員食堂

本社工場には社員食堂を完備しており、社員に作り立てで温かい食事をリーズナブルな価格で提供をしております。近年では、地元の食材を使用した地産地消を積極的に進めております。



社員食堂の様子

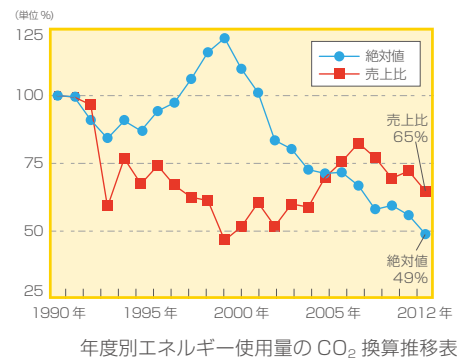
環境

CO₂ 排出量削減① ー地球温暖化防止に向けてー

地球温暖化防止対策として当社も事業所からの CO₂ 排出量削減に積極的に取り組んでいます。

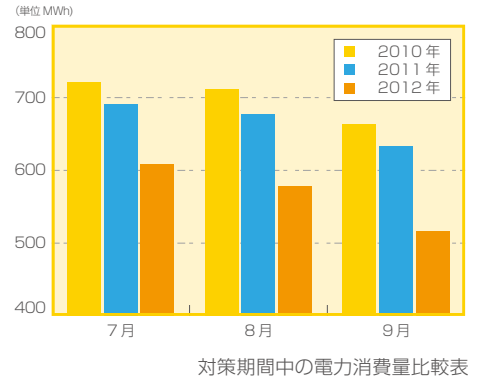
設備（ハード）面では、照明の LED 蛍光灯への切替え、成形金型断熱ベルト取付、インバーターの設置等の対策を実施しました。

運用（ソフト）面では、空調機器用吸込み口フィルターの掃除、空調の温度のタイマー管理、パソコンの画面設定等の対策を実施しました。



CO₂ 排出量削減② ー夏季節電対策ー

2011 年に引き続き 2012 年度も原子力発電所の運転停止に伴う電力不足懸念がありました。特に 7 月～9 月の夏の電力供給に対しては電力会社からの要請もありましたので、全社を挙げて節電対策を実施しました。これによりこの期間の電力は昨年度に比べて 14.4% の削減を実施することができました。



高効率小型モータ（省電力） ー当社製品による環境負荷低減へー

私たちの工場で開発・生産・販売しているモータは、よりエネルギー消費が少ない省エネタイプのモータを開発し、お客様に提案をしています。

モータによる消費電力削減を指標とし、販売の拡大を省エネモータの普及を促進しております。



DC ブラシレスモータ

コミュニティへの参画

清掃ボランティア

本社工場周辺では、毎年、周辺地域の清掃活動、および地域清掃イベントなどにも参加し、地域の皆様とのコミュニケーションをはかっています。



清掃ボランティアの様子

家族見学イベント

社内コミュニケーションの活性を促す「いきいき活動」の一環として社員のご家族を迎えての会社見学イベントを子供達の夏休みと春休みに実施しました。

工場見学では、普段見ることのできないパパの働く姿をみて、嬉しそうに笑顔を浮かべるお子さん達が印象的でした。



家族見学イベントの様子

絹糸紡績資料館

ノコギリ屋根と呼ばれ自然採光を取り入れた、かつての絹紡工場を改装した絹糸紡績資料館は、地域の産業と文化を伝える「産業遺産」として認定され、社内の保存資料のほか、日本絹紡協会の保存資料を全て引き継ぎ、絹糸紡績で明治・大正・明治の時代に生きた産業人の心意気や、糸の町として栄えた地域の歴史を伝える貴重な歴史を、写真・製品・映像・パネルで紹介しています。

本社構内にある同館には、信州のシルク文化や歴史を紹介するスポットのひとつとして、県内外の各地から多くの来場者が訪れています。



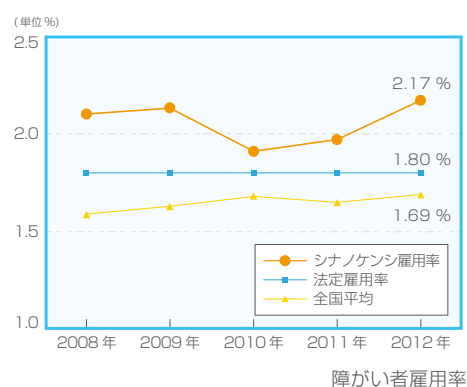
絹糸紡績資料館

人権

障がい者雇用の促進

障がい者の高い定着率の実現も社会的責任であると位置づける当社は、障がい者にとって働きやすい職場環境作りを目指し、障がい者の雇用促進に努めています。2013年3月末時点での障がい者雇用率は2.17%となっています。

左記グラフは各年度（期間：4/1～3/31）の集計を使用しております。



公正な労働慣行

- コンプライアンスを維持するための基本的方針を「シナノケンシグループ行動規範」、「グローバル調達基本方針」に定め、グループ内への浸透を図っております。
- 企業倫理に関する自らの行動・周囲の行為、職場の状況など、各従業員が疑問に思うことについての相談や通報を受け付ける「通報窓口」を設置し、問題の事前防止と早期発見につとめています。
- 「公益通報者保護及び管理規程」を制定し、相談者や通報者に対して不利益を与えることを禁止する旨を明記し、これによって相談者や通報者を保護し、リスク発見の機会を拡大しています。

